

今月の安全運転管理

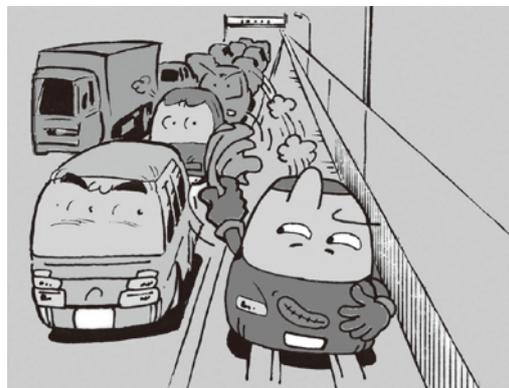
高速道路 わずかなミスが 重大事故に直結

①高速道路での交通事故防止

- 高速道路での安全運転を呼び掛けよう
- 事前準備の徹底を指導しよう

②子供との事故を防ごう

- 子供の飛び出し・出合頭事故を防ごう



「高速運転安全5則」を指導する

八月はお盆や夏休みなどで、高速道路の利用が増えることが予測されます。高速道路では、スピードが出ていることから、些細なミスが重大事故につながります。

そこで、高速道路の安全運転の基本である「高速運転安全5則」に則った運転をするよう指導しておきましょう。

「高速運転安全5則」の項目は次の通りです。

- ①安全速度を守る
 - ②十分な車間距離をとる
 - ③割り込みをしない
 - ④わき見運転をしない
 - ⑤路肩を走行しない
- とくに渋滞時には、路肩を走行する車を見かけることがあります。路肩がふさがっていると、緊急時の救急活動等の妨げとなるため、路肩走行は厳禁です。

事前の準備を万全にしておく

高速道路を安全かつ快適に走行するためには、事前準備が大切です。

昨年お盆期のJAFの高速道路での出動理由のトップ3は、タイヤトラブル、燃料切れ、事故でした。

出発前には、タイヤの空気圧や残り溝のチェックを徹底するよう指導しておきましょう。

また近年、ガソリンスタンドは減少傾向にあります。ガス欠で高速道路上でストップすると重大事故を招くおそれがあります。高速道路に入る前に給油しておくことを呼び掛けましょう。

このほか、この時期は予期せぬ渋滞に巻き込まれることがあります。そんな場合に備えて、飲料水や携帯トイレなども車内に搭載しておくようアドバイスしましょう。

子供の飛び出し・出合頭事故を防止する

夏休みの期間中は、子供の飛び出しや子供の自転車との出合頭事故に注意する必要があります。

子供はつこのことに夢中になると、周囲の安全確認がおろそかになって飛び出してくる特性があります。

公園や学校、生活道路など、子供の遊び場となっているところを走行するときは、子供の飛び出しを予測するよう指導しましょう。

また、見通しの悪い交差点では、子供が運転する自転車との出合頭事故が発生しています。

一時停止の必要な交差点では確実に一時停止をすることはもちろん、一時停止の必要がない場所であっても、しっかりと安全を確認しながら慎重に通過することを、朝礼や点呼時に呼び掛けましょう。